

令和6年度決算の概要をお知らせします

焼津市の財政状況

市の令和 6 年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算がまとまり、市議会9月定例会で認定されましたので、その概要をお知らせします（表示単位未満は四捨五入のため、合計数値が合わない場合があります）。

問合せ先 財政課 ☎626-2142



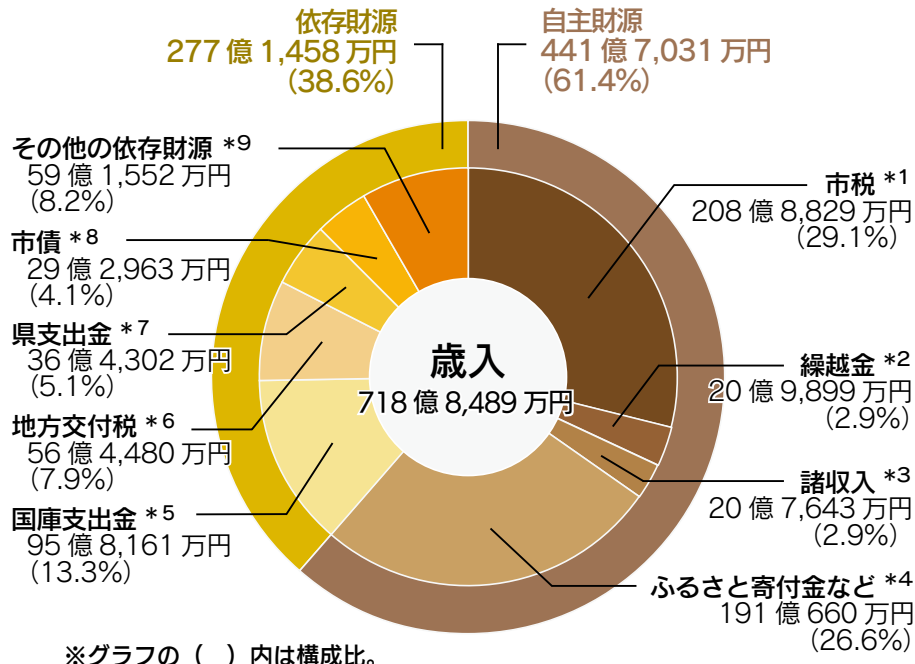
市ホームページ

一般会計

市の基本となる会計です。「特別会計」と「企業会計」以外の全ての行政サービスや事業を扱います。
※3月31日現在の住民基本台帳の人口（13万4,668人）と世帯数（6万836世帯）で計算しています。

歳入

718 億 8,489 万円 前年度に対し 57 億 6,739 万円の増（8.7%）

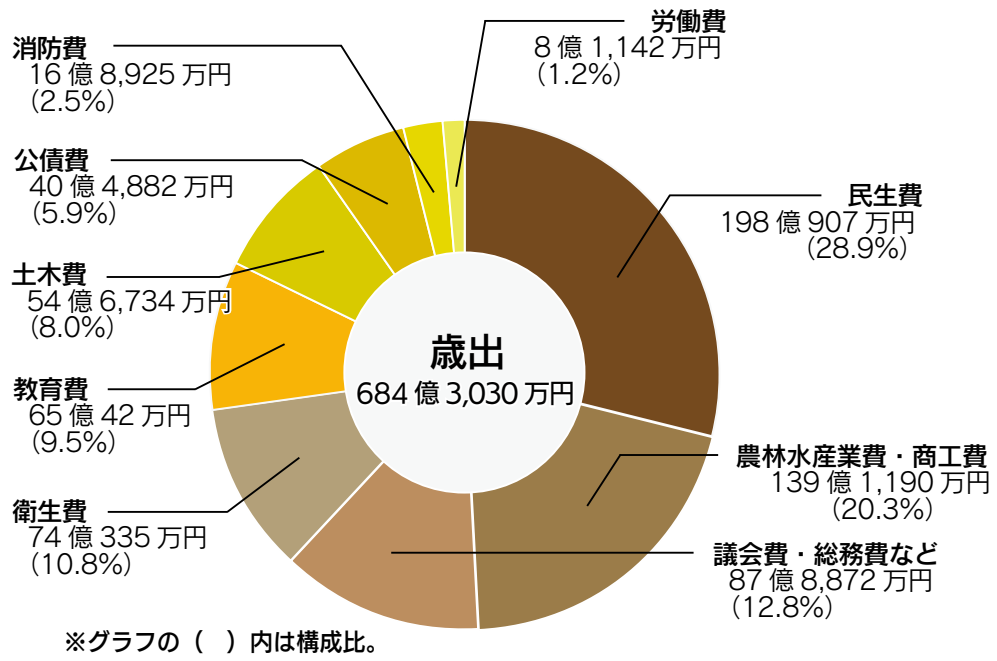


【前年度との比較（主な増減）】

自主財源は、寄付金 12 億 268 万円の増（11.2% / ふるさと寄付金などの増）などがあつたものの、市税 1 億 8,312 万円の減（▲ 0.9% / 市民税や固定資産税などの減）などにより、全体で減少となりました。依存財源は、地方交付税 8 億 1,056 万円の増（16.8%）、国庫支出金 7 億 467 万円の増（7.9% / 児童手当負担金などの増）、市債 6 億 5,921 万円の増（29% / 中学校体育館への空調整備事業などの増）により、全体で増加となりました。

歳出

684 億 3,030 万円 前年度に対し 60 億 4,179 万円の増（9.7%）



【前年度との比較（主な増減）】

民生費は 4 億 8,989 万円の増（2.5% / 児童手当支給事業の増など）、商工費は 13 億 741 万円の増（11.2% / ふるさと寄付金の増に伴う返礼品の増など）、総務費は 28 億 891 万円の増（49.1% / 新病院建設による将来負担への備えとしての減債基金積立金の増など）、衛生費は 1 億 5,013 万円の減（▲ 2% / 志太広域事務組合へのごみし尿処理施設運営事業に伴う負担金の減など）、教育費は 12 億 5,021 万円の増（23.8% / 中学校体育館への空調整備事業の増など）となりました。

市税の負担額

市民1人当たり
15 万 5,109 円(99.9%)

※（ ）内は対前年度比。

1世帯当たり
34 万 3,354 円(98.2%)

※（ ）内は対前年度比。

※1…市に納められた税金 ※2…前年度から繰り越されたお金 ※3…貸付金の元利収入など ※4…寄付金、公共施設の使用料や手数料、財産収入、繰入金など ※5…市が行う特定の事業に対して国が支出するお金 ※6…市の財政状況に応じて国から交付されるお金 ※7…市が行う特定の事業に対して県が支出するお金 ※8…国や銀行からの借り入れ ※9…地方譲与税や地方特例交付金、地方消費税交付金など



支出したお金

市民1人当たり
50 万 8,141 円（110.5%）

※（ ）内は対前年度比。

【内訳】

項目	内容	金額
民生費	子どもや高齢者の福祉など	147,096 円
農林水産業費・商工費	農業や水産業、商工業の振興など	103,305 円
議会費・総務費など	議会や市役所の管理運営、戸籍など	65,262 円
衛生費	保健や環境衛生、ごみ処理など	54,975 円
教育費	学校教育の充実や文化・スポーツの振興など	48,270 円
土木費	道路や河川、公園の整備など	40,599 円
公債費	借入金（市債）の返済	30,065 円
消防費	消防活動や防災など	12,544 円
労働費	労働者の福利厚生など	6,025 円
合計		508,141 円

収支

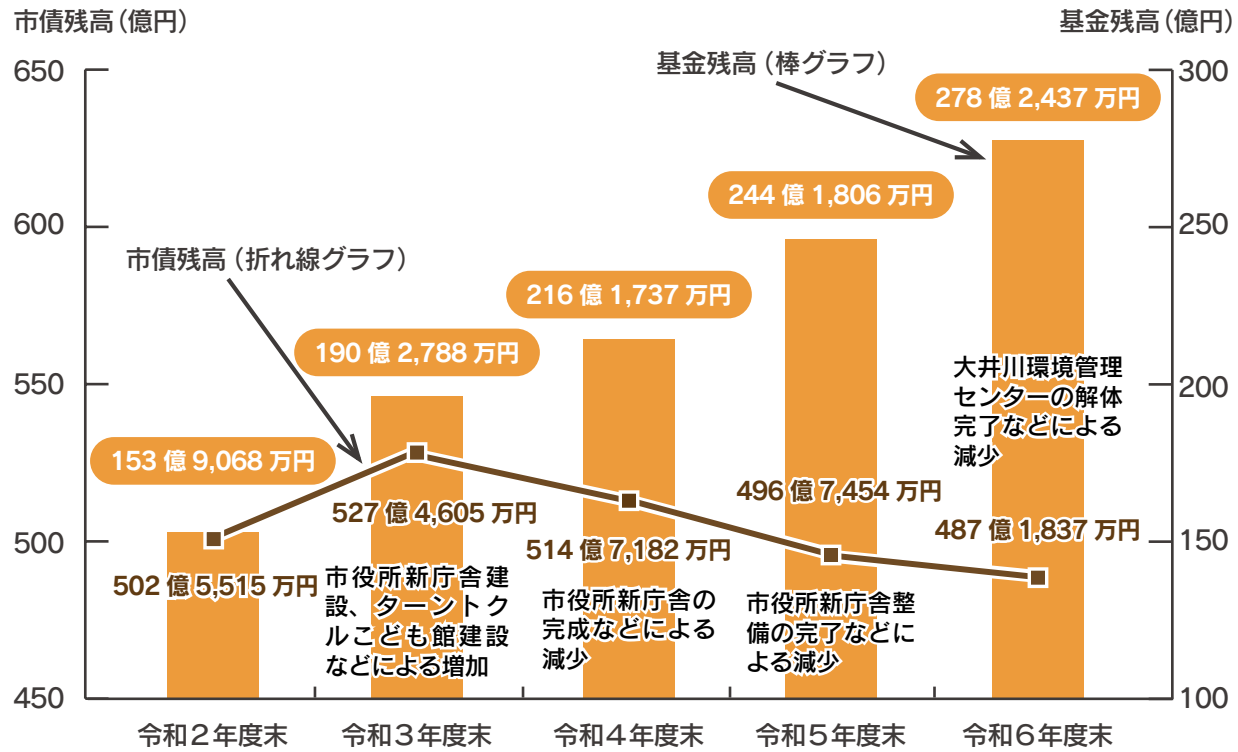
実質収支 30 億 9,950 万円

- 形式収支は、歳入から歳出を差し引いた金額です（718 億 8,489 万円－684 億 3,030 万円＝34 億 5,459 万円）
- 実質収支は、形式収支から繰越財源（翌年度へ繰り越す事業の財源）を差し引いた金額です（34 億 5,459 万円－3 億 5,509 万円＝30 億 9,950 万円）

市債（長期借入金）と基金（預貯金）

一般会計の市債残高 487 億 1,837 万円
前年度に対し 9 億 5,617 万円の減（▲ 1.9%）

【グラフ】市債残高と基金残高の推移



市債残高

市民1人当たり
36 万 1,767 円(98.8%)

※（ ）内は対前年度比。

基金残高

市民1人当たり
20 万 6,615 円(114.8%)

※（ ）内は対前年度比。

市債（市の借金）残高は、令和 3 年度末の約 527 億円をピークに年々減少しています。大井川環境管理センターの解体完了などにより、令和 5 年度から 9 億 5,617 万円減少しました。基金（市の預貯金）には、各年度の財源を調整するための財政調整基金や将来の大きな支出に備えて積み立てる特定目的基金などがあります。令和 5 年度から 34 億 631 万円増加しました。

ふるさと寄付金基金活用事業の概要

これまでに寄付をいただいたふるさと寄付金のうち、経費を除いた金額（約半額）を「ふるさと寄付金基金」として積み立てており、令和 6 年度は次の事業に活用しました。

【表】ふるさと寄付金基金活用事業

項目	活用額	主な活用事業
子育て支援・子どもの学習環境の整備など	15 億 4,881 万円	子ども医療費助成、小学校教育環境整備事業など
観光・交流事業など	10 億 1,922 万円	産業立地促進事業助成、温泉事業特別会計繰出金など
健康増進・医療機器の整備など	16 億 7,350 万円	子ども予防接種事業、病院事業会計繰出金など
治水・防災・市民の安心安全など	16 億 2,041 万円	会下ノ島石津土地区画整理事業、自主運行バス運営事業など

特別会計

特定の目的のためだけにお金を集めて使うので、一般会計と区分して経理する会計です。市には 8 つの特別会計があります。

特別会計は、基本的に使用料や保険料などの収入を主な財源として運営していますが、公益性や事業収支の実情により、一般会計からの繰入金によって収支の均衡を図っています。

【表】特別会計の決算額

会計	歳入	歳出	差し引き	市債残高
し尿処理事業	6 億 2,887 万円	5 億 153 万円	1 億 2,734 万円	0 円
土地取得事業	4,895 万円	4,894 万円	1 万円	0 円
国民健康保険事業	125 億 2,844 万円	123 億 7,402 万円	1 億 5,442 万円	0 円
温泉事業	1 億 5,882 万円	1 億 5,782 万円	100 万円	0 円
駐車場事業	1,569 万円	1,371 万円	198 万円	0 円
介護保険事業	137 億 1,595 万円	133 億 6,388 万円	3 億 5,207 万円	0 円
後期高齢者医療事業	23 億 6,534 万円	22 億 8,513 万円	8,021 万円	0 円
港湾事業	7 億 6,426 万円	7 億 2,114 万円	4,312 万円	18 億 5,666 万円

企業会計

民間企業と同様に事業を営営する独立採算が原則の会計です。市には 3 つの企業会計があります。

【表】企業会計の決算額

会計	収益	費用	差し引き	企業債残高	一般会計からの繰入金
水道事業	23 億 3,469 万円	20 億 5,100 万円	2 億 8,369 万円	62 億 9,447 万円	1,213 万円
病院事業	142 億 1,951 万円	156 億 1,978 万円	▲ 14 億 27 万円	32 億 4,701 万円	18 億 633 万円
公共下水道事業	19 億 2,204 万円	19 億 3,198 万円	▲ 994 万円	91 億 4,291 万円	10 億 4,997 万円

相談室

■心の病気の相談 日時 11/4(火)・18(火) 13:30～ ■高次脳機能障害医療等相談 日時 11/11(火) 13:00～ 17:00
■酒害相談 日時 11/18(火) 13:30～ 【共通】会場 藤枝総合庁舎 要予約 予約・問合せ 県中部保健所 ☎644-9281